

高瀬神社 社報

越中一宮

第22号

平成21年7月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部写真館 南部 榮氏



正月が終わり二月、三月と月日が過ぎて行く。一年間の時の経過の中で自分は何をしたらだろうと考えると、面白かったこと、面白くなかったことなど多くの思い出が蘇えつて来ます。楽しかったことばかりの思い出が駆け巡ると、自分を高く評価して「自分も立派なものだ」と言いたくなりませんが、反対に面白くなかった思い出が次から次に浮かんで消えて行きますと、自分が小さな人間に思われて卑屈になってしまい、自分が老化していくことを痛感するので。これも八十年の月日の経過のなせることでありましょうか。

私の子どもの頃の思い出は、祖父の背中を見ながらの朝夕のおつとめでした。神楽太鼓の打ちかたや、祓詞の読み方も祖父から教えられました。楽しかった時も、楽しくなかった時もありましたが、現在の私には祖父の心の内が理解できるようになりました。

父からは大自然の中で人として生きることを習いました。私の父には六人の継母がいたと聞いています。自分の人生観を自分の生活環境から学び、「親竹と筍」、「鎮守の森」、「自然の中に生きる動物」について教えてくれました。私はすばらしい父や祖父からの教えを受け、神職としての道を歩みました。私は六十社の兼務神社に奉仕させていただいておりますが、十二才頃から一人で兼務神社の祭典を奉仕し、その時、氏子の人々から教えられたことが沢山ありました。自分一人で生活することとは出来ないのですから、自分本位の行動や発言は良く考えてから行わないと、自分の生活に重くのしかかると、ほんとうに自分一人の生活をせねばならなくなります。自分が可愛と思つたら自分中心の行動や発言をしないことが肝要です。身内はもちろんのこと、氏子の方々や友人など、多くの人々から学ぶべきことは多く、他人に学ぶことを繰返し教えてくれたのは祖父や父でした。

(論語の述而篇三) に

「子曰、三人行、必有我師焉。其不善者、而從之。其善者、而改之。」

「子曰く、三人行けば、必我が師有り。其の善なる者を捉びて、之に従い、其の不善なる者は、之を改む」

「史記」の孔子伝の文章の一部ですが、人間が学ぶべきことは何処であつても、その機会は沢山あり、教えを受ける師も多い。多くの人々と共に社会の知識や常識を学ぶことによつて、自分の生活を考え、改めることが大切だと言っています。

人間の一生は幼少の家庭生活から始まり、大人となって社会生活に至り老いをむかえます。長い時間の中で育ち、学ぶことが人間性を養うことになるでしょう。現在の社会の中では毎日のごとく人間らしからぬことが繰り返されているように思います。多くの情報や時間を垂れ流し、深く考えることをしなくなつたからでしょうか。

一つの事件が起こつたとしたならば、多くの人々がそれを分析して再発しないように努力するといったことがなされていらないのです。

生涯が学習であり、学べることはより多く学ぶという意欲が大切です。そこに豊かな心が生まれ、相互扶助の社会が生まれると思ふのです。



大門川の桜並木：宮司撮影

祭 事 暦

「春季祭」齋行

去る四月十日午前十時より「春季祭」が斎行され、祭典では宮司祝詞奏上につづき、雅楽会「鳳鳴クラブ」による神楽「浦安の舞」が奉奏されました。

役員・氏子・崇敬者約四十名の参列者とともに、再びめぐり来た春の喜びと、感謝の誠心をささげ、今年の豊作を祈念しました。



祈年穀祭

六月十日午前十時より、「祈年穀祭」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上につづき、

砺波地区農業協同組合協議

会からの幣帛が供えられ、

参向使の永井正夫

さんと農業協同組合代表理事組

合長により祭文が奏上されました。

本殿での祭典につづき、御神前で点火された忌火が宮司から参向使に手渡され、境内大鳥居前に備えられたかがり火に点火されました。参列者一同で害虫などの影響無く豊作になるよう祈念しました。

また、多年にわたり農業の発展に寄与された功労者に「根尾宗四郎氏・上田又一氏遺徳顕彰事業」により農事功労表彰が贈

られた。

前福光農業協同組合代表理事組合長 村上勝則様

祭典では、本年金婚を迎えられた二組の夫婦に、金婚祝証と記念の杯が宮司より贈呈されました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。



金婚祭

四月八日「金婚祭」が斎行され、高瀬地区老人クラブ連合会（久田久伸会長）の会員約八十名が参列しました。

祭典に先立ち清掃奉仕が行われ境内が払い清められ、大変きれいになりました。

祭典では、本年金婚を迎えられた二組の夫婦に、金婚祝証と記念の杯が宮司より贈呈されました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。

また、本年も宮司による講演会が参集殿にて行われました。



杜のつぎわい

（農事功労表彰）
前福光農業協同組合
代表理事組合長 村上勝則様

られました。

春の防火避難訓練

実施

（金婚者）
中田 栄・なつ子御夫妻
（南砺市北市）
武田清孝・美智子御夫妻
（南砺市三清東）

四月十三日、寺西孝志南砺消防署井波庄川出張所長の指導の下、神社職員・氏子・神社協力会の参加により実施されました。



シリーズ

高瀬の今昔 いまむかし ①

「昇格記念祭のこと」

戦前の高瀬神社は、国史には延喜式内社・越中一宮として県内で最も由緒ある神社とされておりましたが、当時は県社という社格でありました。大正初期、熱誠溢れる氏子崇敬者より国幣社へ昇格の声が高まり、大正四年、敬神講が組織され、基本財産の造成と境内地の拡張がなされました。この運動が結実し、大正十二年六月十六日、ついに国幣小社に列格され、同八月二十六日には盛大な奉告祭が斎行されました。奉告祭には勅使として伊藤喜八郎富山県知事が参向し、同八月二十七日、二十八日の両日、奉祝の慶賀祭も行われました。その後も終戦に至るまで、毎年六月十六

日には昇格記念祭が斎行されました。昭和八年八月二十六日、二十七日の両日には国幣小社昇格十周年の慶賀祭が行われ、各地からの参拝者で、社頭は大いに賑わいました。先人の多大なる尽力により、国幣社に列格されましたが、県社時代の御社殿が小規模で尊厳さを欠いているということからお建てかえすることになりました。昭和十七年、国会の承認を受け、全ての殿舎を建設することになり、社殿・社地の整備費として当時のお金で三十七万円が支弁されました。用材は戦時中、供出されたこの地区の旧家の屋敷林を主とし、杉の巨材が集積されましたが、終戦と同時に一切の工事が中止停滞となりました。しかし、集積された良材は神社へ移管されたため、氏子崇敬者はこれを引き継いで工事を進めました。同時に

熱心に浄財を募り、工事の完成を目指しました。その結果、御本殿をはじめ、社務所などが立派にできあがり今日に至りました。昇格記念祭が行われた大正十二年から、今年は八十六年目となりました。当時の氏子崇敬者の、神社を想う尊い気持ちと真心の杉材で完成した御社殿を、末永く大切にしていかなければならないと日々感じています。



(写真提供)

井波町ボランティアグループ

草の根サークル編

「写真が語る井波の近代」

諸催事のこと

八乙女山開山祭

去る六月七日、八乙女山(標高七五六メートル)山頂にご鎮座の「風神堂」の開山祭が斎行され、ました。

当日は時折小雨が降る生憎の天候でしたが、井波観光協会会員や南砺市親子わんぱく自然教室参加者ら約一二〇名参列のもと、当地方特有の春と秋に吹き荒れる「八乙女おろし」を鎮め、風災無く、無事過ごせるよう祈念しました。

祭典につづき、本年も「八乙女風神太鼓」の奉納演奏があり、山頂は賑わいました。



(写真提供) 井波観光協会

献穀田産より

「御田植祭」 齋行

本年も井波地域中核農業士協議会（松井俊明会長）により献穀田が執り行われることとなり、去る五月十六日「御田植祭」が、南砺市沖の村田文夫氏（本年奉耕者）の水田で齋行されました。

天候にも恵まれ関係者六十名が参集し、五名の早乙女によりコシヒカリの苗が丁寧に植えられました。



九月中旬の「抜穂祭」で刈り取られる稲は御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮に「懸税」として奉献されることになっております。



◇本年早乙女奉仕者

- 横江 千夏さん（中学三年）
- 前川 朱里さん（中学三年）
- 林 美咲さん（中学三年）
- 前川唯依華さん（中学一年）
- 武田 真緒さん（中学一年）

参 拜 日 誌 抄

（平成二十一年三月～五月）

「三月」

- 二日 八坂神社宮司 森 壽雄殿
- 二十二日 日枝神社宮司 宮西惟道殿
- 二十三日 献穀田種初清祓式
- 二十四日 富山県西部森林組合 五十名
- 三十一日 神社庁砺波支部役員会

「四月」

- 六日 南砺市交通安全協会
（春の交通安全祈願祭）
- 八日 氏子清掃奉仕（村総出）
- 高瀬地区老人クラブ連合会
（金婚奉生忌祭）（清掃奉仕）
- 長田神具店（賽銭箱奉納）

「五月」

- 十日 利賀村森林組合（安全祈願祭） 二十名
- 十三日 立正佼成会（清掃奉仕）
- 二十一日 小松市天竜老人クラブ 四十名
- 二十七日 明治神宮宮司 中島精太郎殿
パステルエンジニアリング（株）
（創立記念日）
- 十日 普明会教団高岡支部
- 十三日 庄川SC安全協議会 三十三名
- 立正佼成会（清掃奉仕）
- 十八日 神明大一社（愛知県岩倉市）
宮司 吉田 稔殿
以下八十二名

十八日

NPO法人五十鈴塾

塾長 矢野憲一殿

二十日

中部電工(株)安全衛生協議会

十三名

鈴木徽章工芸(株)

取締役社長 鈴木健之殿

二十一日

健田須賀神社(茨城県結城市)

宮司 小貫隆嗣殿

以下四十五名

二十二日

神社庁砺波支部研修会

団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

不明な点は社務所までおたずね下さい。

(初穂料)

一〇,〇〇〇円



ご結婚おめでとうございます

昨年十二月から本年五月まで御婚儀を執り行われた皆様です。

(挙式日、時間順)

(十二月)

六日 島田 忠嗣様

七日 山川 和人様

松田 将宏様

佐伯 俊昭様

中田 匡英様

高嶋 成幸様

杉本 忠幸様

吉江基枝朗様

二十三日 寿崎 勝徳様

十七日 酒泉 昭裕様

七日 (二月) 河合 宏尚様

美奈子様

二十一日 高田 克也様

二十八日 中島 佑輔様

井口 景介様

横川 克博様

七日 (三月) 福塚 秀美様

十五日 江尻 能章様

蓮間 重義様

小橋 徳康様

二十日 川合 茂様

二十一日 石尾 健一様

二十九日 高野 史生様

十一日 (四月) 伊藤 巖様

十二日 高橋 実英様

二十六日 田中 和宏様

めぐみ様

(五月) 二日 石田 美政様

藤森 直樹様

五日 伊藤 伸宏様

十七日 野守 千妃呂様

齋藤 尚子様

二十三日 稲塚 勝彦様

玉井 静香様

二十三日 尾山 裕子様

二十三日 玉井 涼二様

二十三日 玉井 千里様

二十三日 尾山 誠様

二十三日 尾山 真琴様

二十三日 矢野 忍様

三十日 伏木 繁治様

高島 晴美様

高島 強様

仁美様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

御案内

例 祭

九月十三日(土) 午前十時
御本殿につづき功靈殿の大祭
を斎行いたします。
皆様お揃いでご参拝下さい。

第四十七回奉納剣道大会

九月二十一日(祝) 午前九時
奉告祭のち、境内にて開催
します。
砺波地区内の小中学生・高校
生剣士の熱戦が展開されます。
応援をお願いします。

第三十六回献茶式

十月二十五日(日) 午前十一時
(お茶席・二席)
午前八時三〇分〜午後三時
(一)奉仕
裏千家流
(茶券)
一枚三千元(短冊・点心付)

七夕祭

八月七日(金) 午後三時
短冊配布期間 七月二十日〜八月七日
短冊に記した願い事が成就す
るよう、神様にお願いいたします。
ご家族お揃いでご参拝下さい。

御祈禱

家内安全・新車修祓・初宮詣・
厄除・人生儀礼など「御祈禱」
は毎日午前八時三十分より午後
四時三十分まで随時受け付けて
おります。

七五三詣

本年は次の通りです
○七歳(女子) 平成十五年生
○五歳(男子) 平成十七年生
○三歳(男・女) 平成十九年生
前には社務所までおたずね下さい。

元服祝(男子)

十五歳(平成七年生)

髪上祝(女子)

十三歳(平成九年生)

奉納

○「櫓」
砺波市太郎丸

米田澄子殿

○「賽銭箱」

南砺市井波

長田神具店

長田正勝殿

戌の日(安産祈願の日)

(七月)	四日(土)	八日(木)
	十六日(木)	二十日(火)
	二十八日(火)	(十一月)
(八月)	九日(日)	一日(日)
	二十一日(金)	十三日(金)
	九月	二十五日(水)
(九月)	二日(水)	(十二月)
	十四日(月)	七日(月)
	二十六日(土)	十九日(土)
		三十一日(木)

腰帯のお祝いも行いますので
ご持参下さい。

新任職員紹介



長谷川宏幸

権禰宜

昭和五十四年九月六日生
皇學館大學神道学専攻科修了

趣味・特技

書道、スノーボード

ひとこと

京都・八坂神社でのご奉仕を
経て、五年ぶりに郷里に帰って
参りました。四月より早や三ヶ
月が経ちましたが、毎日楽しく
ご奉仕をさせていただいており
ます。これからも大神様の御加
護のもと、氏子の皆さまとも
に一生懸命頑張つてまいります。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

編集後記

梅雨に入りましたが、氏子・崇敬
者の皆様には、益々ご健勝のことと
拝察いたします。
今春の桜は例年になく咲き乱れ、
参拝者の皆様にもお喜びいただきま
した。

いよいよ夏本番でございます。ご
自愛をいただき、清々しくお過ごし
下さいませ。お祈り申し上げます。

【表紙写真】

杉の旧木より芽生える
新たないのち

発行日 平成二十一年七月一日

発行所

越中一宮 高瀬神社社務所

〒933-0252 富山県南砺市高瀬二九一

TEL.0763-810933 FAX.0763-813304

編集人 浦

泰宏

印刷所 牧印刷株式会社

ブライダル相談会及びフェア情報

7月

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ フェア
 ■ 13時・14時・15時 リハーサル体験会(要予約)
 ■ 10時～16時 衣裳展示相談会(要予約)
■ 13時～17時 平日相談会



神前式
リハーサル体験会

毎月一日は
神前式リハーサル体験会
午後一時・二時・三時

★要予約



和装体験及び
婚礼料理試食会

八月二十二日 日曜日
午前十時～午後七時

和装試着・カツラあわせ
婚礼料理試食会(午後六時より)

★要予約

★試食は一人五千円
(通常一万二千六百円の婚礼料理「一松」の
試食をして頂けます)

七五三衣裳展示会開催

平成21年10月17日(土)
18日(日) ★参加自由

午後1時～5時まで



—大切なその日を綺麗に、
花嫁の最高のシーンを彩る—

NOVIA de SALON みに



TEL.0763-82-0423 富山県南砺市北川1852 <http://www.salon-mitani.com/> 全国美容技術選手権大会花嫁着付部門入賞(平成19年開催)